

## 京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書

### 1. 研究課題

『文史通義』研究

A Study on " Wenshi tongyi"

### 2. 研究代表者氏名

古勝隆一

Ryuichi Kogachi

### 3. 研究期間

2019年04月 - 2020年03月 (1年度目)

### 4. 研究目的

章学誠(1738-1801)『文史通義』は、中国文明における文献と史学の意味を根本からとらえ直す偉大な著作であり、文献実証主義的を越えて、さまざまな方法論に基づく読みが可能な文献である。本書の遠大なる構想を解明するため、文献学・史学・文学・思想史など、多角的な面から検討を加える会読を行う。本研究班ではこの『文史通義』内篇に詳細な訳注を加え、本書を十全に読解することを目的とする(外篇については、内容の選定が難しいことと、分量的な問題を考慮して、この研究計画では訳注を行わない)。訳注稿は『東方学報』京都に分載する予定である。

Zhang Xuecheng (1738–1801) was an eminent Qing Dynasty historian especially famous for his historical theory expressed in his magnum opus, *On Literature and History*. The book radically clarifies the meaning of writings and historiography in the Chinese culture from the ancient time to the Qing dynasty, and it should be read more closely and intentionally using various disciplines. To clarify the framework of *On Literature and History*, we would employ a multifaceted approach and thoroughly translate its Inner part into Japanese with precise annotations. The series of translations will be published in the *Tōhō gakuho*, Kyoto.

### 5 研究成果の概要

一年間の延長期間において、研究会を月一回以上開催し、『文史通義』巻四前半部分の訳

注をおこなった。また、先行する研究班において訳注稿を作った巻三部分につき、出版に向けた整理をおこなった。

## 6 共同研究に関連した公表実績

2018「『文史通義』内篇二譯注(2)」(共訳)『東方学報』第 93 冊 pp.67-119

2017「『文史通義』内篇二譯注(1)」(共訳)『東方学報』第 92 冊 pp.253-311

2017 「『文史通義』内篇一譯注」(共訳)『東方学報』第 91 冊 pp.149-236

2017『目録学に親しむ一漢籍を知る手引き』研文出版 134ps.(宇佐美文理氏・永田知之氏と共著、京大人文研漢籍セミナー6)

## 7 研究成果公表計画および今後の展開等

「『文史通義』内篇三譯注」(共訳) を、『東方学報』第 95 冊に掲載予定である。また、2020 年 4 月にスタートする「清代～近代における経学の断絶と連続:目録学の視角から」(班長:竹元規人福岡教育大学准教授)においても、引き続き『文史通義』訳注を継続し、内篇五篇の全訳を完成させる予定である。